

令和7年10月21日

職 員 各 位

愛西市長 日 永 貴 章

令和8年度予算編成にあたって

1 国の動向

国の月例経済報告では、「景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。」としています。

このような状況下において国の令和8年度予算編成に向けた考え方は、成長型経済への移行を目指すとともに、物価上昇を上回る賃金上昇の普及・定着、官民連携による投資の拡大、防災・減災・国土強靱化、少子化対策・こども政策の着実な実施など、重要政策課題に必要な予算措置を講ずることによってメリハリの効いた予算編成とするとしています。

2 本市の状況・予算編成基本方針

令和6年度決算では、自主財源比率は42.3%、前年度比0.4%の減少となりました。

これは、依存財源による財政運営の比重が大きくなっていることを表しており、県内の市町村において下位に位置する状況です。また、自主財源における基金繰入金の占める割合は20.8%であり、基金を取り崩すことで事業を継続していかなければならない厳しい財政運営となっています。

また、物価高騰などの影響もあり、扶助費をはじめとする社会保障関係経費、公共施設の老朽化対策などに加えて、人件費や委託料などの上昇が続いており、歳出決算額の対前年度比の増減率・増減額は、10.5%・27億5千万円の増加となりました。市税がほぼ横ばいを続ける中、歳出は全般的に増加を続けており、財政構造の弾力性を示す令和6年度の経常収支比率は94.9%まで上昇し、今まで以上に財政運営の硬直化が進んでいます。

このような状況の中、社会情勢の変化へ迅速に対応し、持続可能なまちづくりのための投資を着実にやっていくには、既存事業全般にわたり有効性・必要性を徹底的に精査し、基金を可能な限り取り崩さないよう進めなければなりません。

歳入に見合った歳出とするため、従来のやり方にとらわれることなく、より効率的効果的な手法を積極的に取り入れるとともに、デジタルトランスフォーメーションの加速、ファシリティマネジメントの推進などを通じて本市に見合った財政規模へスリム化を図るため、歳出要求額を抑制し、予算要求をするよう事務を進めてください。

予算編成についての詳細な方針については、総務部長通知の「令和8年度予算編成方針について」を留意してください。